

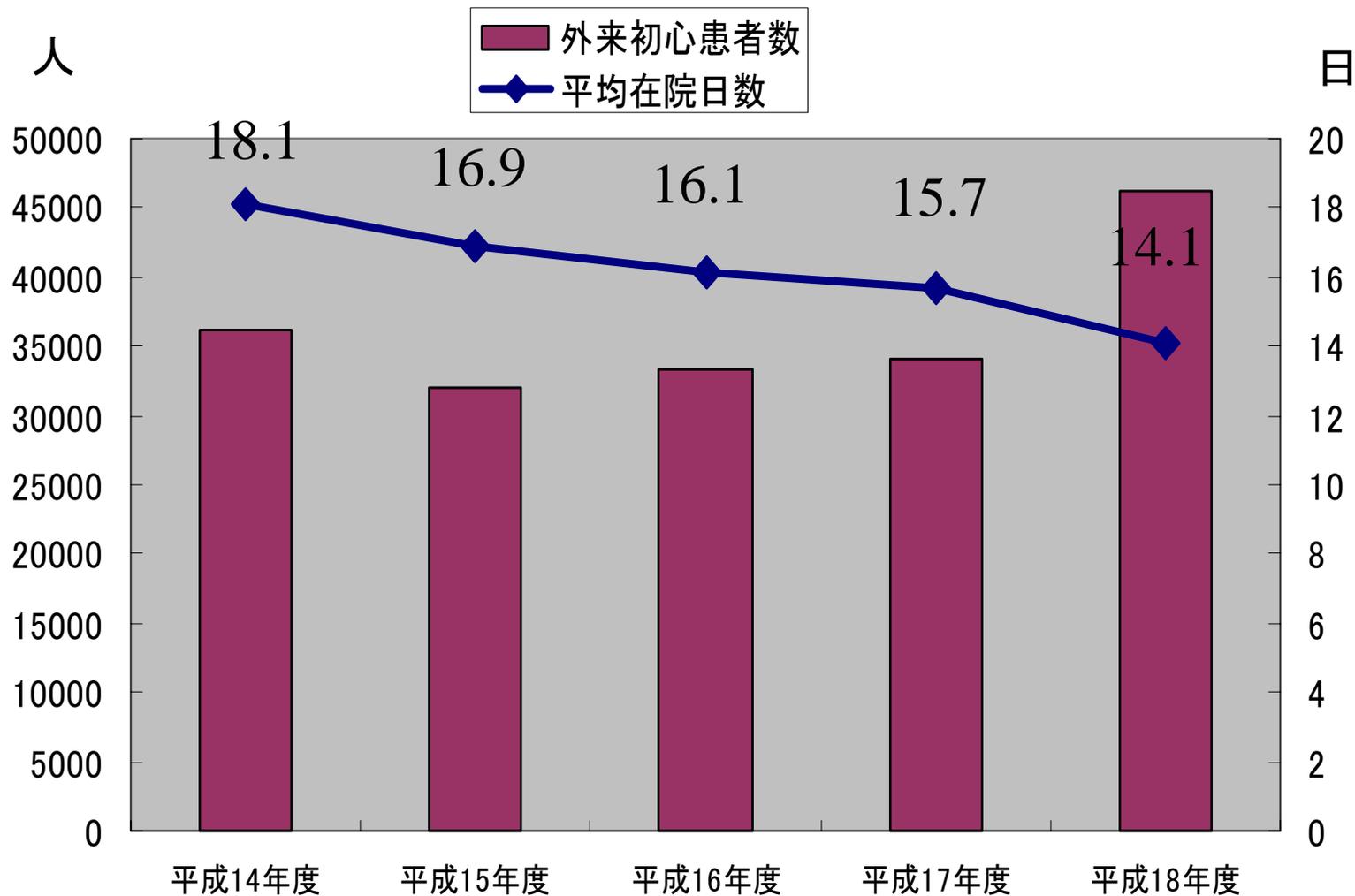
在宅支援室における現状 —セルフケアの指導と在宅物品窓口—

皮膚・排泄ケア認定看護師

岩根 弘栄



当院における外来初診患者数と平均在院日数



在宅療養指導料に含まれる医療材料

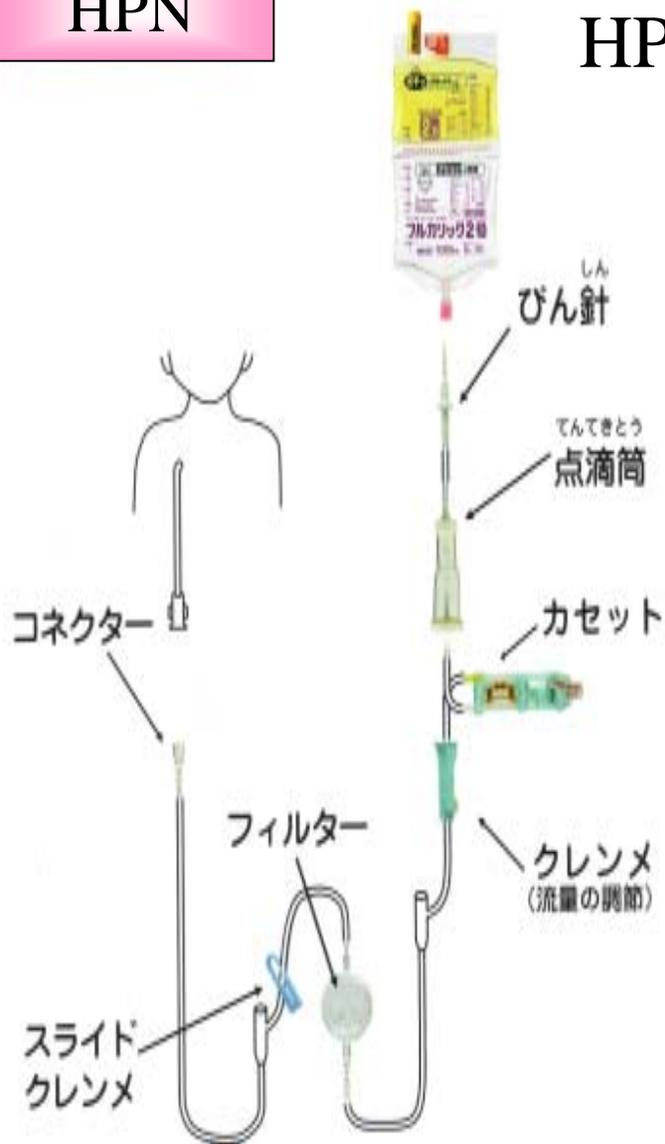


小児科:102名
外科:14名
内科:4名
耳鼻科:10名
放科:1名
心外:1名

合計:132名

HPN

HPN(在宅中心静脈栄養)



HPN

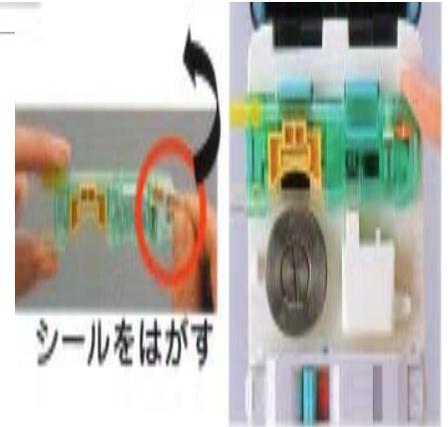
HPNのポンプ手技について



開ける



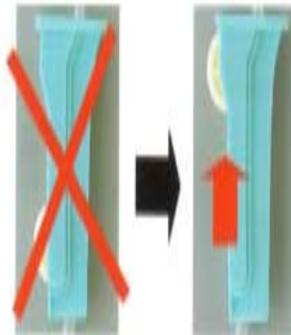
同時に押す



シールをはがす



カチッ



開ける



0120-337460

流量
設定



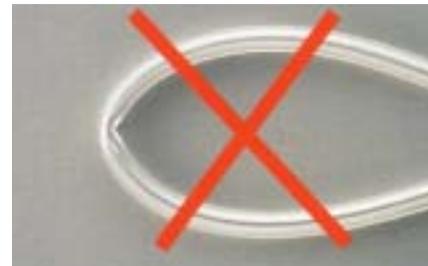
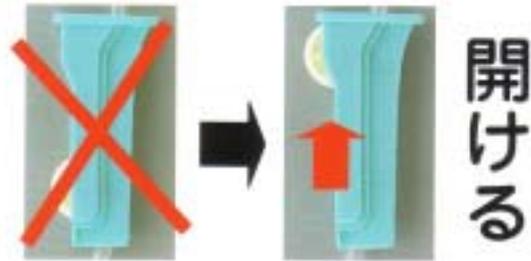
65

HPN

アラームの対処方法①



「輸液剤が流れていません。チューブが折れていないか、クレンメが閉じていないか、確認してください。」



HPN

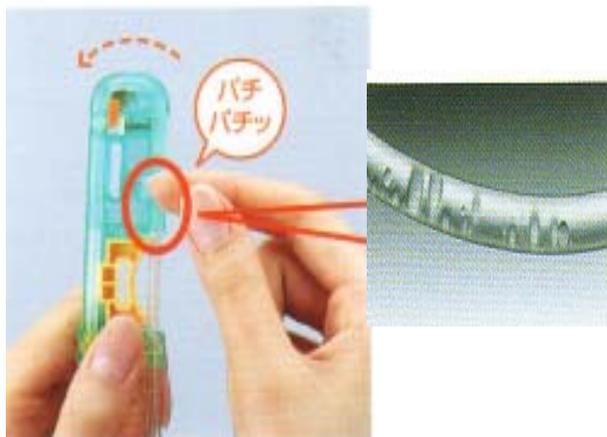
アラームの対処方法②



「輸液剤がなくなりました。
新しい輸液剤とチューブセット
に交換してください。」

原因は？

- ・輸液剤がなくなっている
- ・点滴筒の中に輸液剤がなくなっている
- ・カセット部のチューブの中に小さな気泡がくっついている



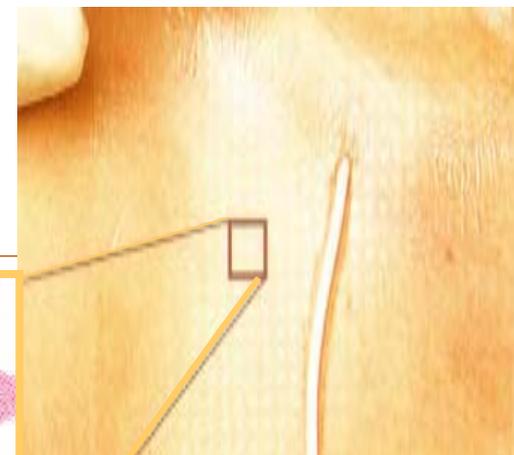
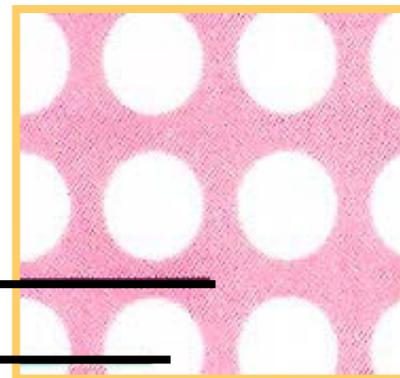
HPN

透明フィルム剤

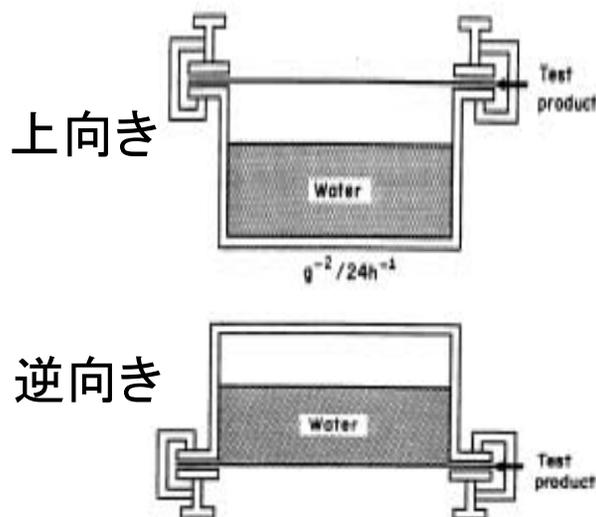
MVTR: 水蒸気透過率の比較

粘着剤が格子状に塗布されている(全体の75%)

粘着剤が塗布されていない



水蒸気透過率の比較(g/m²/24h)

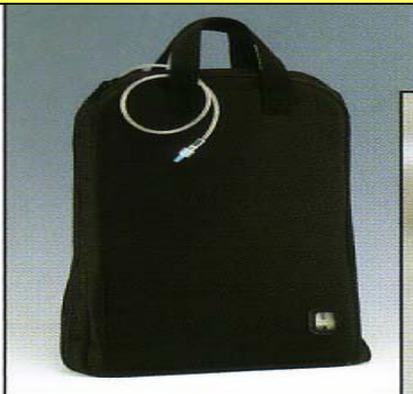


製品名	上向き	逆向き
オプサイト	829	847
オプサイV3000	982	2930
テガダーム	794	846
テガダームプラス	722	780

HPN

オプション品

キャリーバッグ



(装着例)

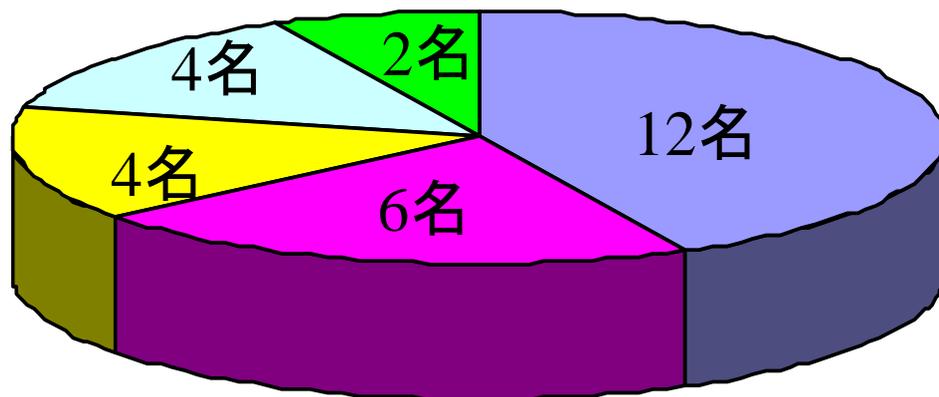


ジャケット



HPN

平成18年度・19年度の原疾患

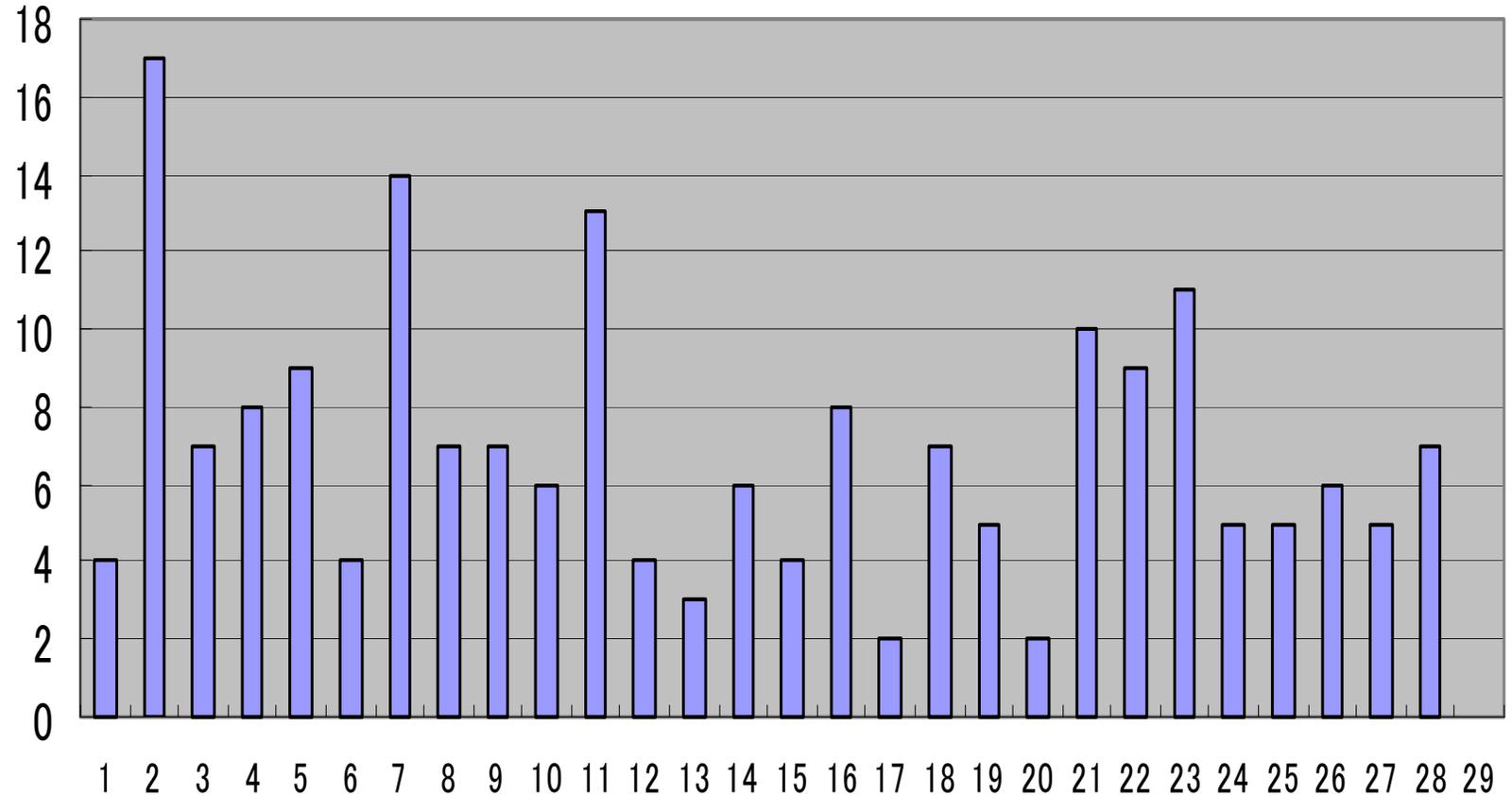


- 胃癌
- 大腸・十二指腸癌
- 食道癌
- 子宮癌
- 膵臓癌

HPN

平成18年・19年度の指導回数

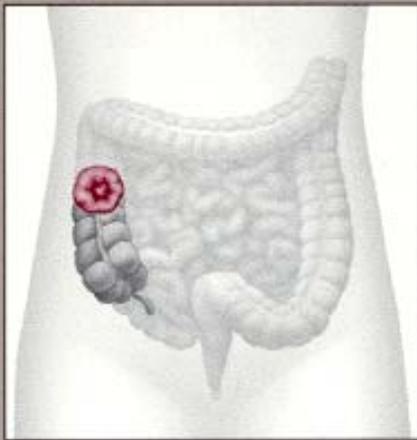
日



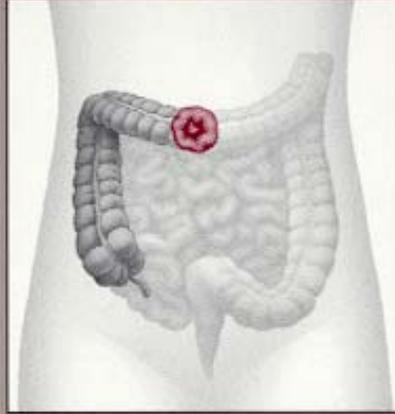
最短2日～最高17日

ストーマ

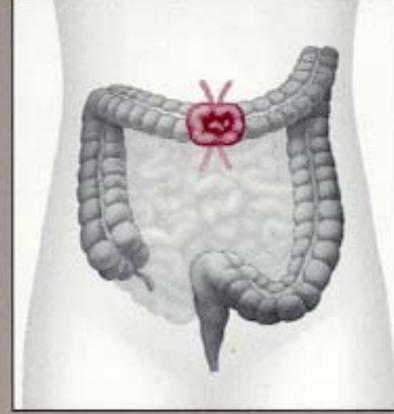
ストーマの種類



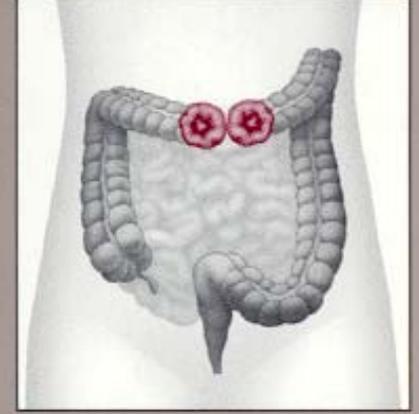
Ascending Colostomy



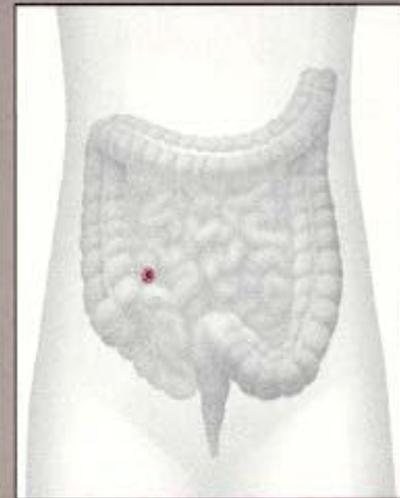
Transverse
(Single-barrel)



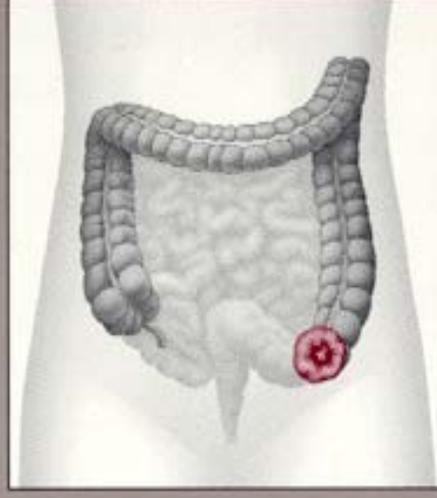
Transverse Loop



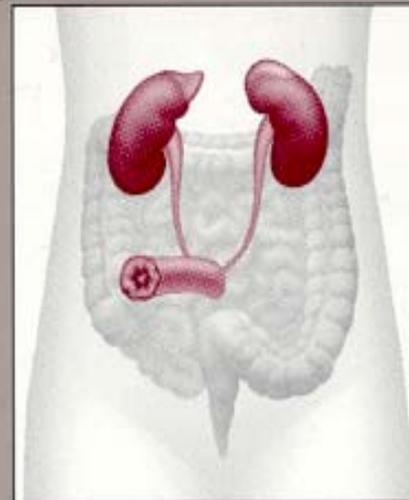
Transverse
(Double-barrel)



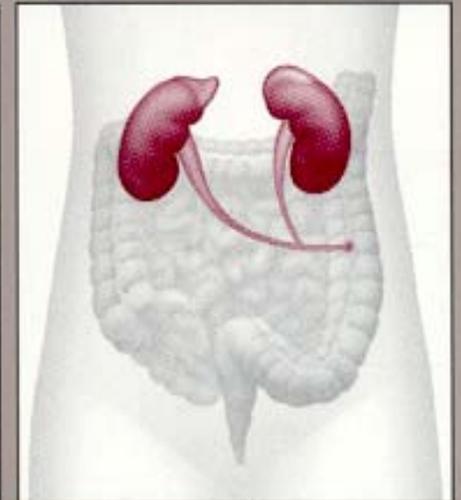
Ileostomy



Sigmoid Colostomy



Ileal Conduit



Transureteroureterostomy

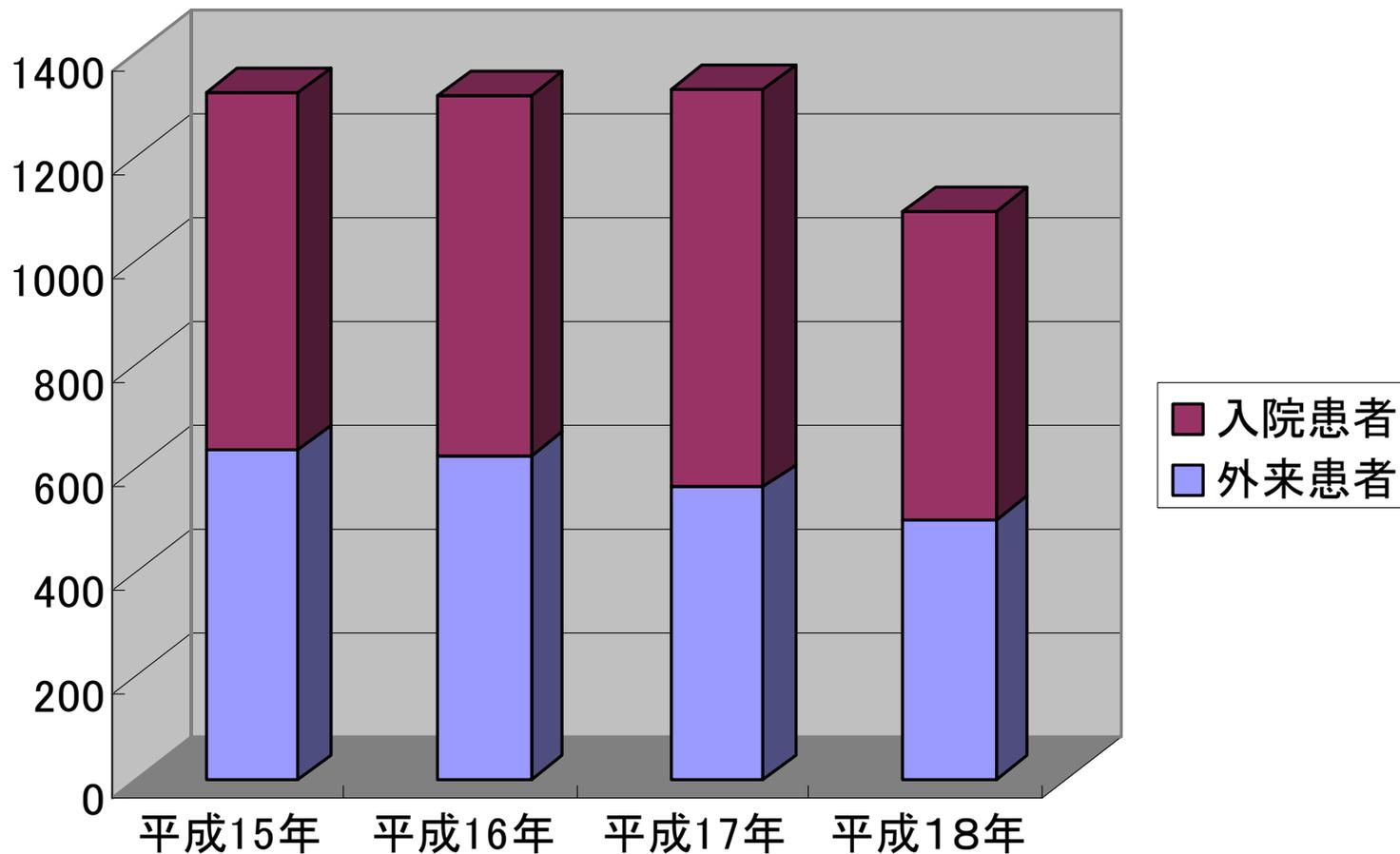
ストーマ

ストーマ外来



ストーマ

当院におけるストーマケアの現状



ストーマ

セルフケア指導



ストーマ

体位の違いによる腹壁の変化

<臥床>



<坐位>



ストーマ

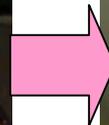
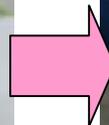
腹部の変化による対応



腹膜播種による腹部緊満や
ストーマの浮腫・脱出への対応

ストーマ

急激な体重減少に伴う皮膚の下垂やしわ



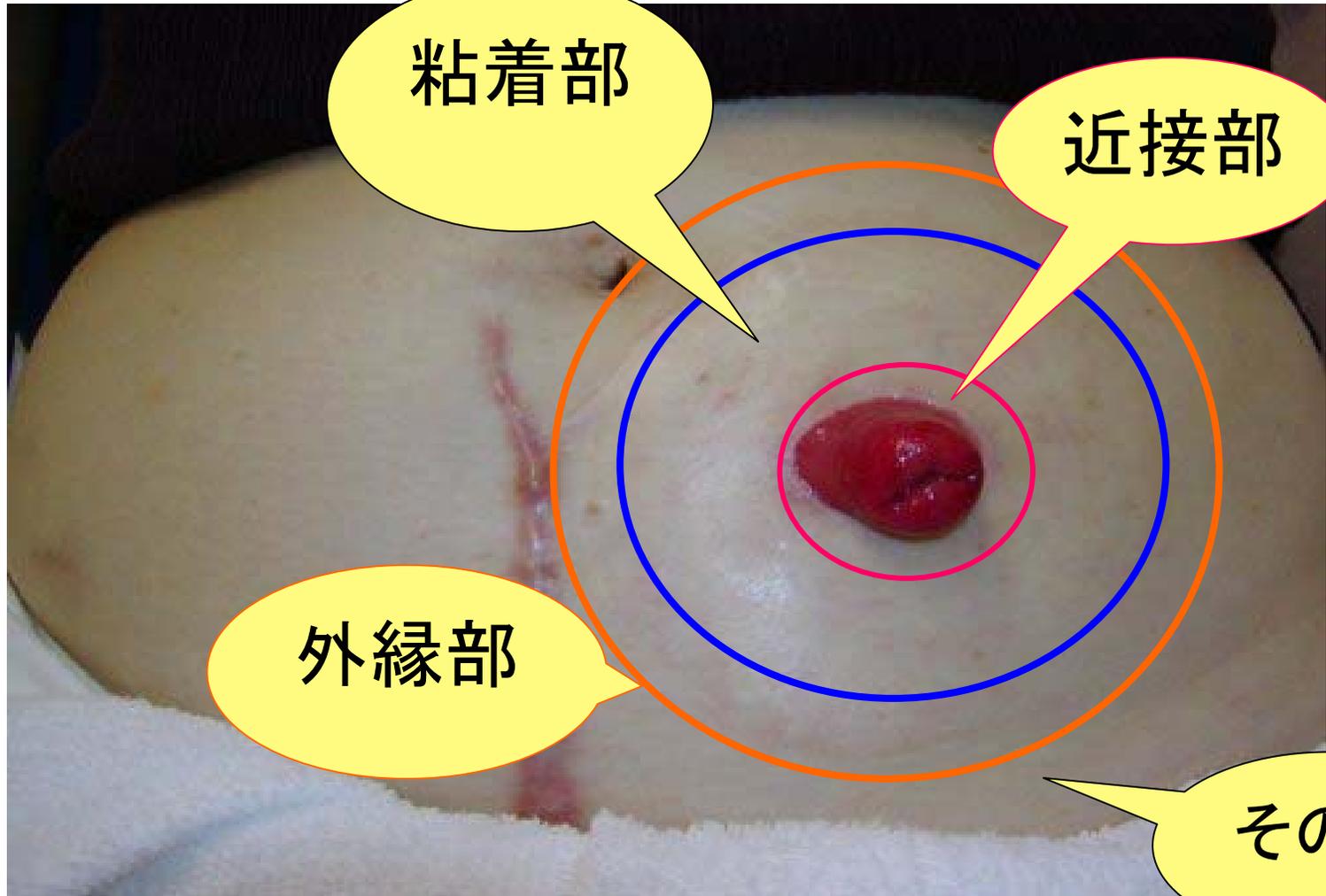
ストーマ

合併症や皮膚障害への対応



ストーマ

皮膚障害のアセスメント



粘着部

近接部

外縁部

その他

ストーマ

皮膚障害への対応

<近接部の障害>



- ①排泄物の刺激
- ②凸面装具による
圧迫過度
- ③ペーストによるア

ルコール刺激

<粘着部の障害>



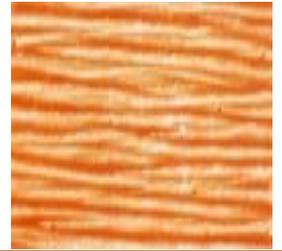
- ①スキンケアの不備
- ②皮膚保護剤の皮膚
への刺激
- ③物理的刺刺激
- ⑤毛のう炎(感染)

<外縁部の障害>

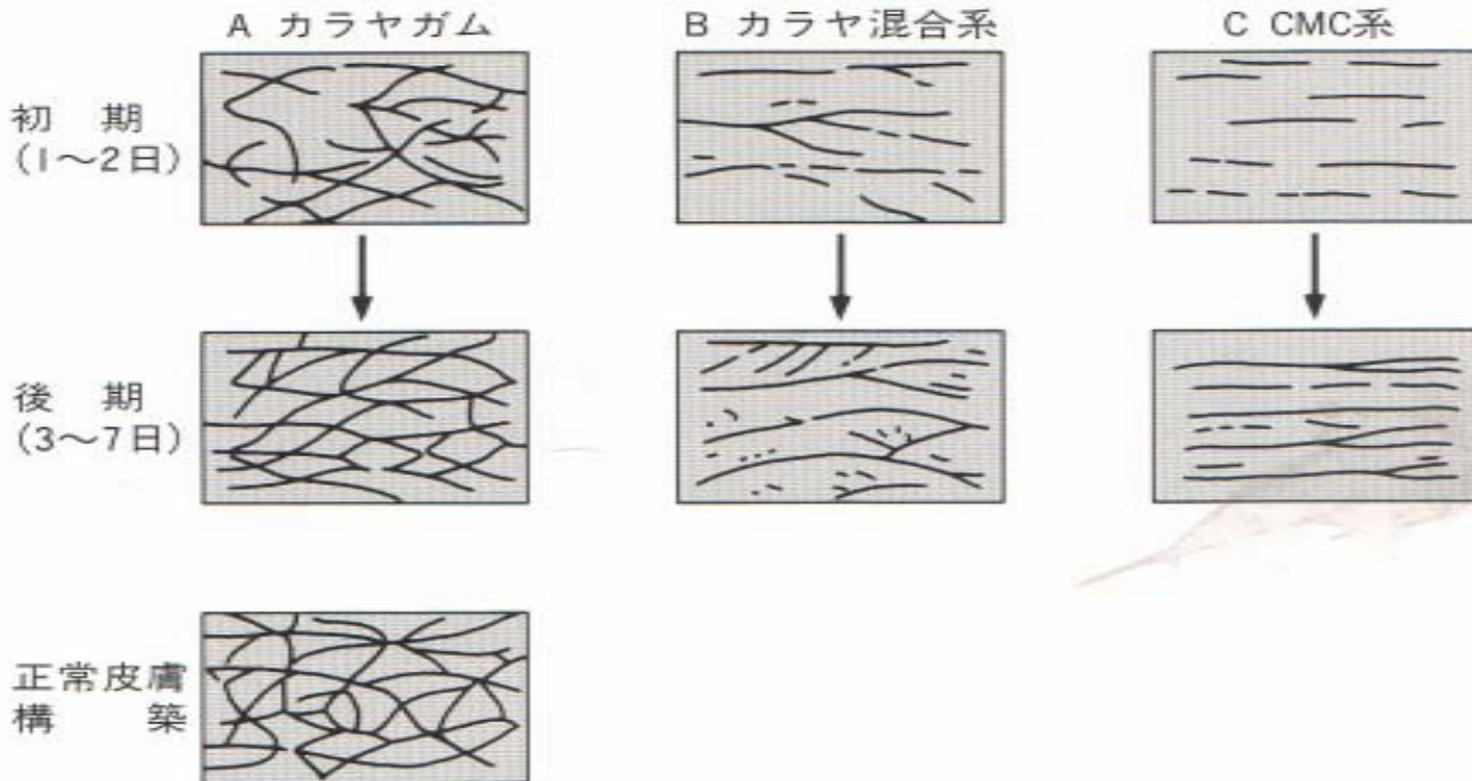


- ①粘着部辺縁の刺激
による皮膚変化
- ②補強絆創膏による
皮膚変化
- ③皮膚の緊張

皮膚障害時の治癒過程における 皮膚保護剤別の構築学的特徴

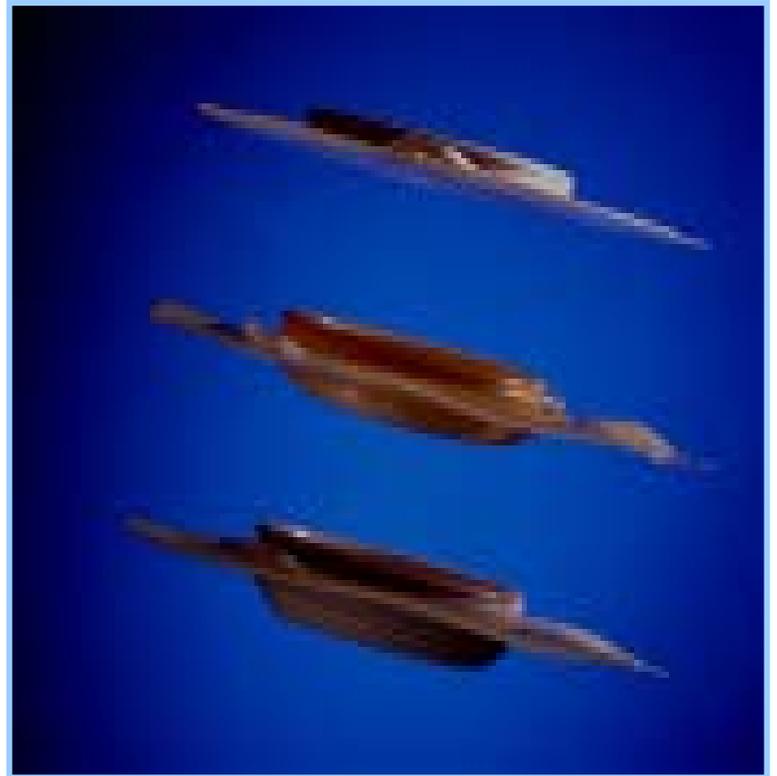


扁平化および、びらん化した表皮
(皮野消失状態)



ストーマ

ストーマの高さと腹部の状態による装具を選択



ストーマ

ストーマ装具のいろいろ



「国内主要ストーマ用品一覧2005年度版」
計230種類：平坦型183種類、凸型47種類

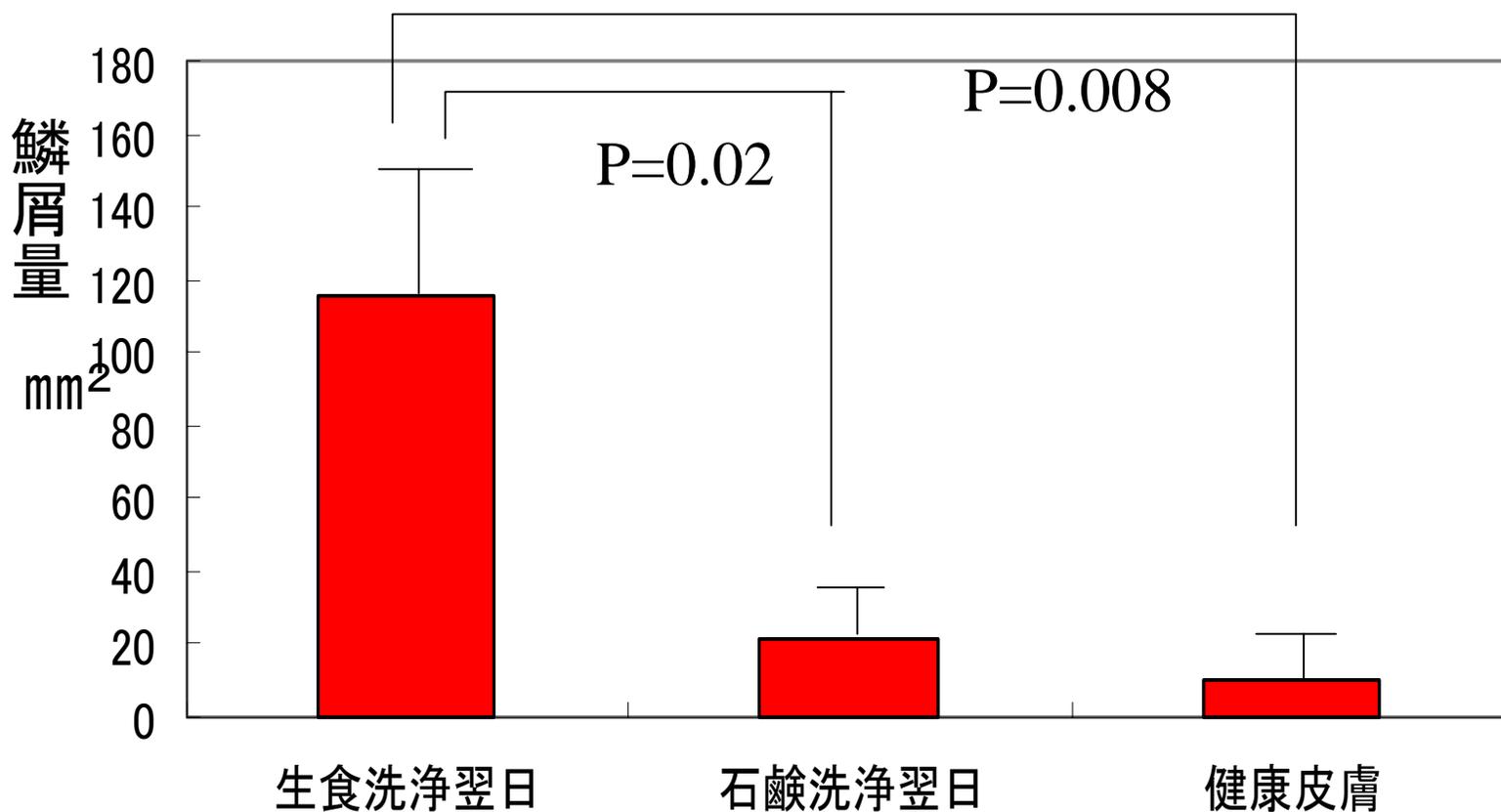
褥瘡

創周囲の洗浄



褥瘡

鱗屑量の比較



褥瘡

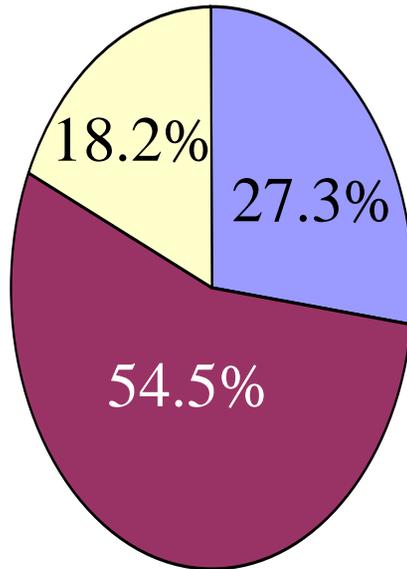
菌種の総計(述べ数)

菌種 (n=13)	創部	創周囲	
黄色ブドウ球菌	Staphylococcus aureus (MRSA も含む)	40	38
グラム陽性桿菌	Corynebacterium sp.	33	28
腸内細菌	Proteus mirabilis	10	5
グラム陰性桿菌	Arcanobacterium haemolyticum	8	4
A群溶レン菌	A 群 β -Streptococcus	8	6
緑膿菌	Pseudomonas aeruginosa	8	6
G群溶レン菌	G 群 β -Streptococcus	7	3
大腸菌	Escherichia coli	4	4
表皮ブドウ球菌	Staphylococcus (CNS)	2	6
腸内細菌	Enterobacter faecalis	2	0
ブドウ糖非発酵グラム陰性桿菌	Acinetobacter baumannii	1	2
カンジダ	Candida sp.	1	4
腸内細菌	Enterobacter cloacae	1	1

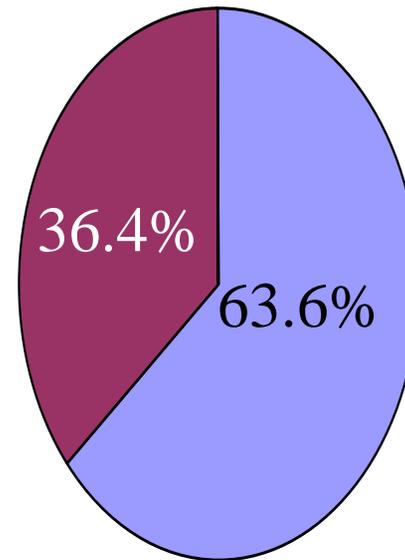
太字は起炎菌となりうる菌種

創部での洗浄前と翌日のコロニー数の減弱

生食洗浄前・翌日

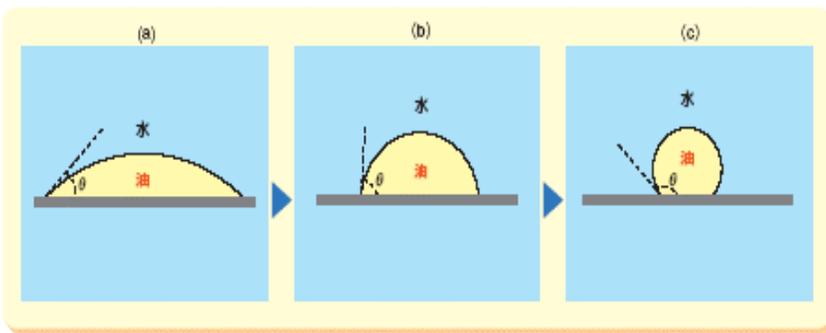
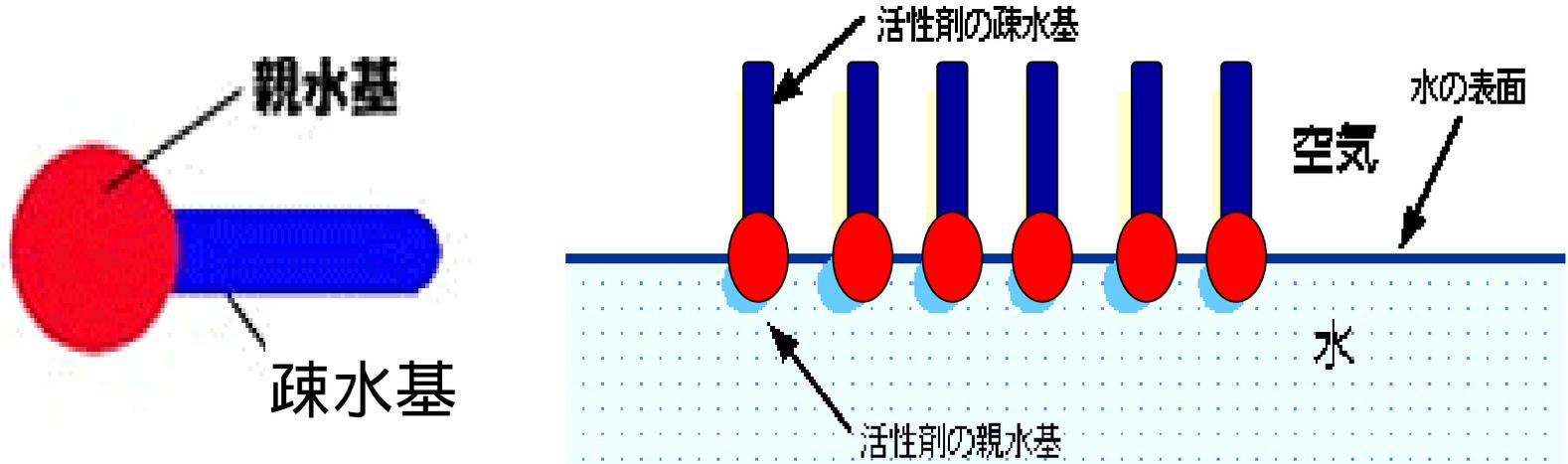
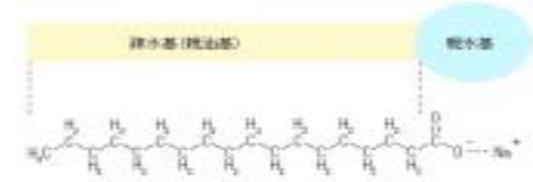


石鹼洗浄前・翌日

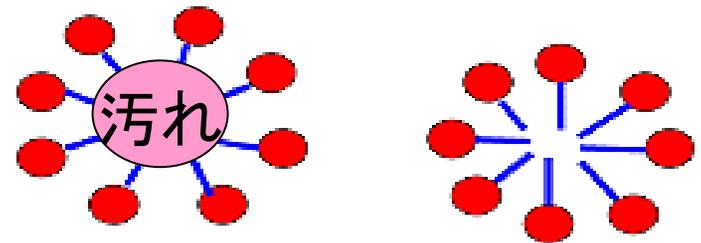


起炎菌となりうる菌種

界面活性剤の特性

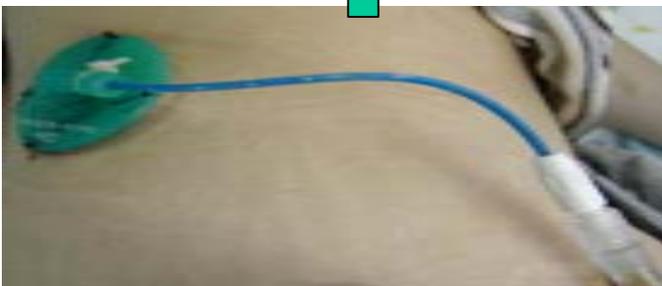


汚れを包みこんで除去する



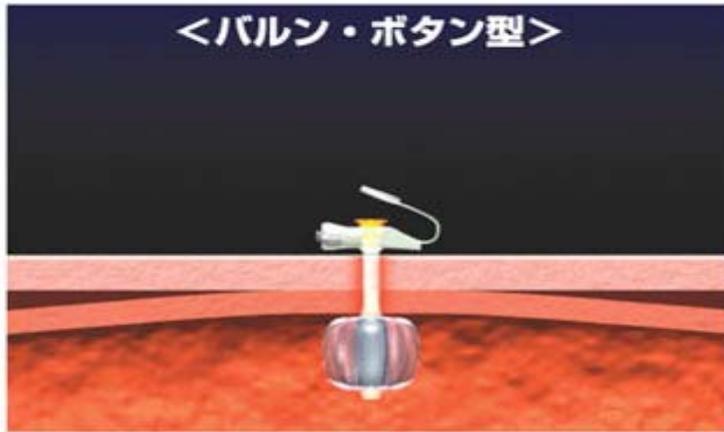
ミセルが出来はじめる濃度 = 臨界ミセル濃度
critical micelle concentration (c.m.c)

腎瘻のスキンケア指導

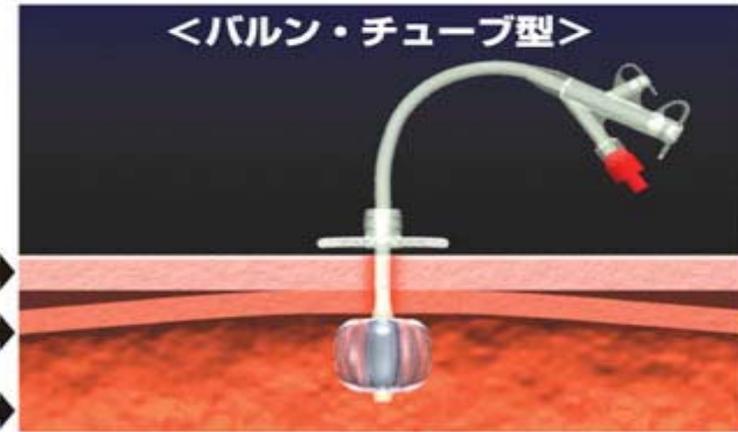


1. スキンケア：
カテーテル挿入後1週間後からプロテクトは不要。
 - ①全身状態が安定している
 - ②発熱がない
 - ③カテーテル挿入部から尿漏れがない①~③を満たせば、シャワーから初め、入浴へ
2. 抜去時の対応
3. 定期的なカテーテル交換
4. 日常生活指導(補助用具の使用・水分摂取指導)

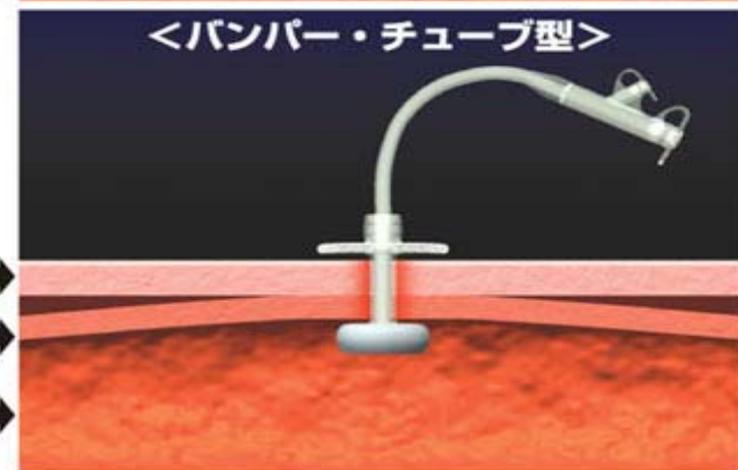
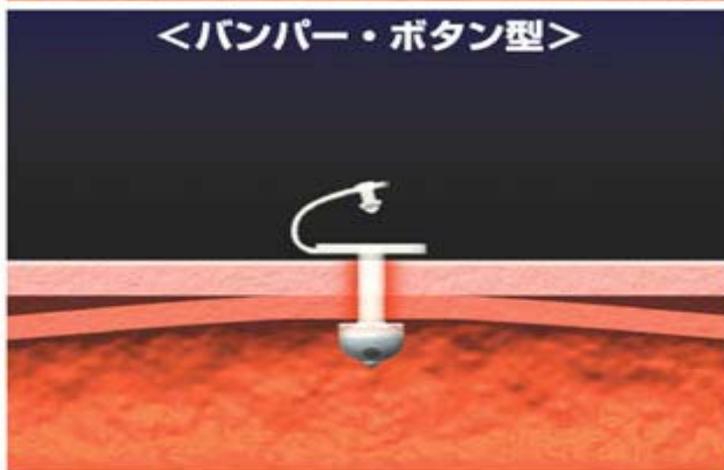
カテーテルの種類



◀腹壁▶
◀胃壁▶
◀胃内▶

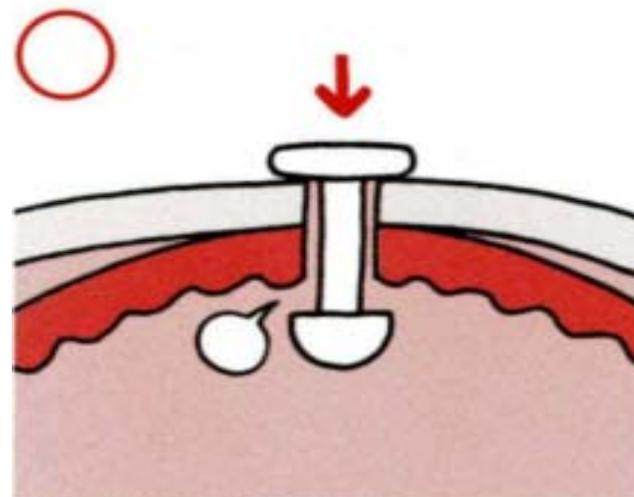
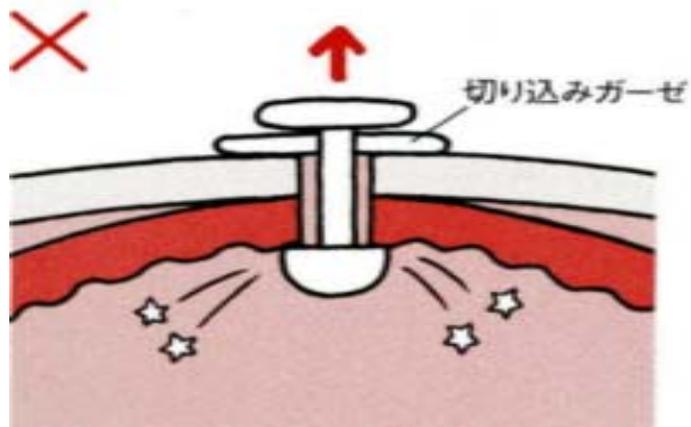
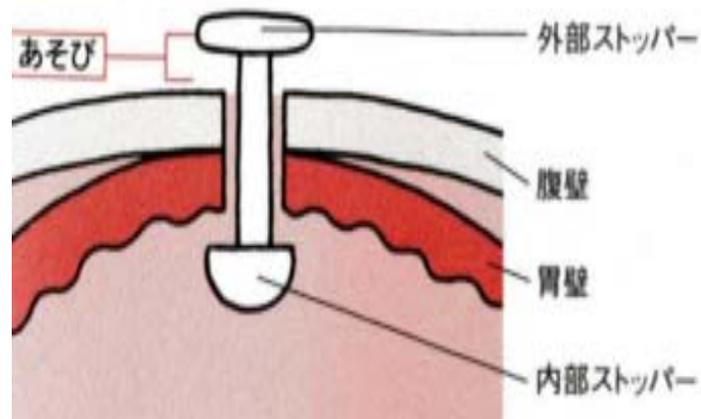


◀腹壁▶
◀胃壁▶
◀胃内▶



胃瘻

胃壁部への圧迫を防止する

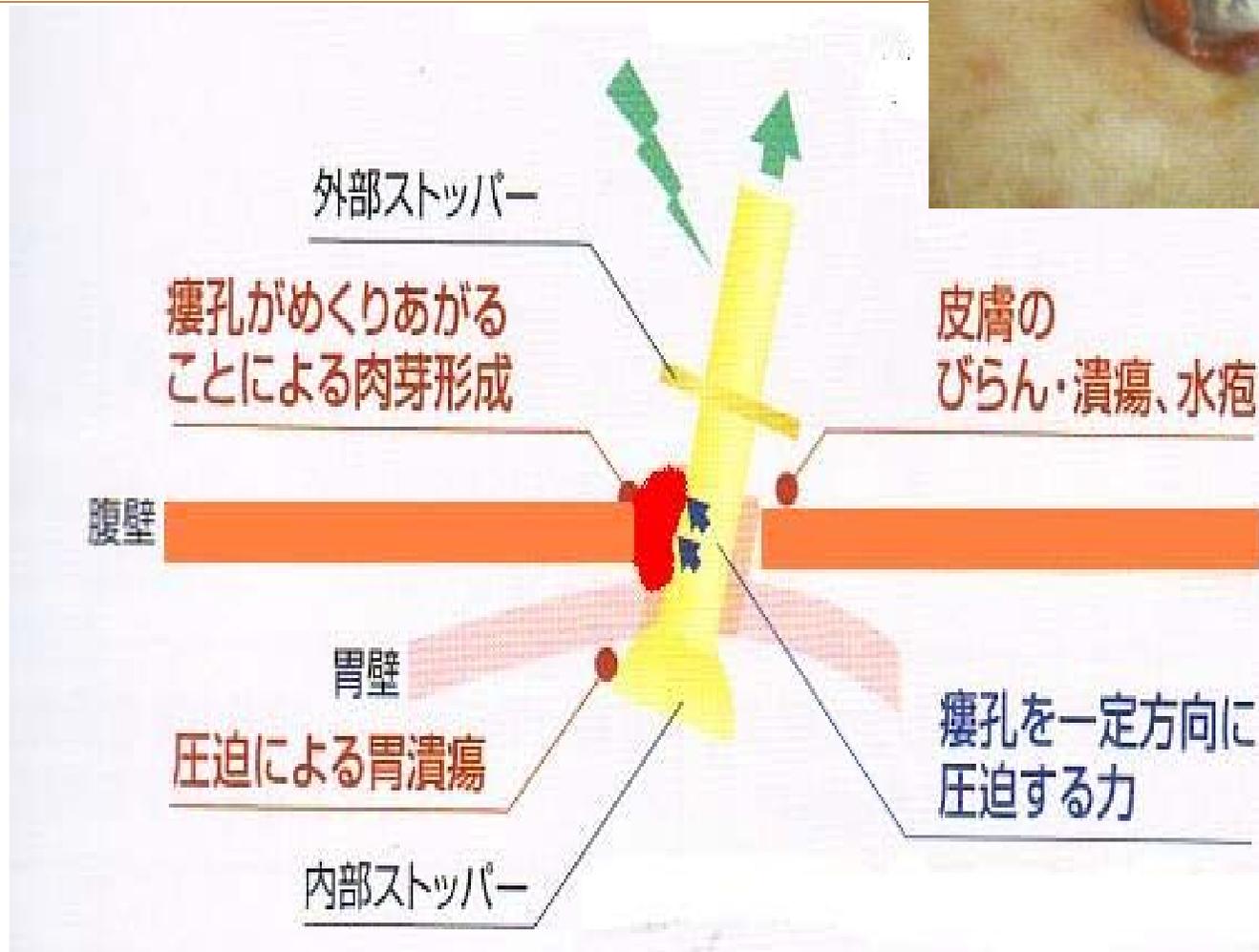


胃瘻・腸瘻

スキンケアの重要性



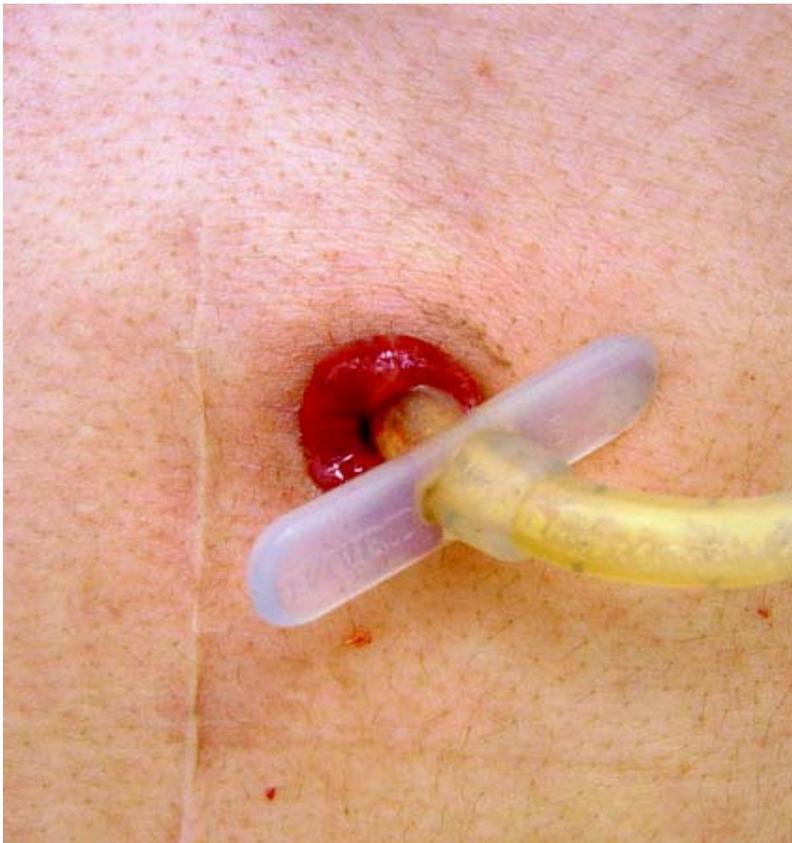
胃瘻



胃瘻

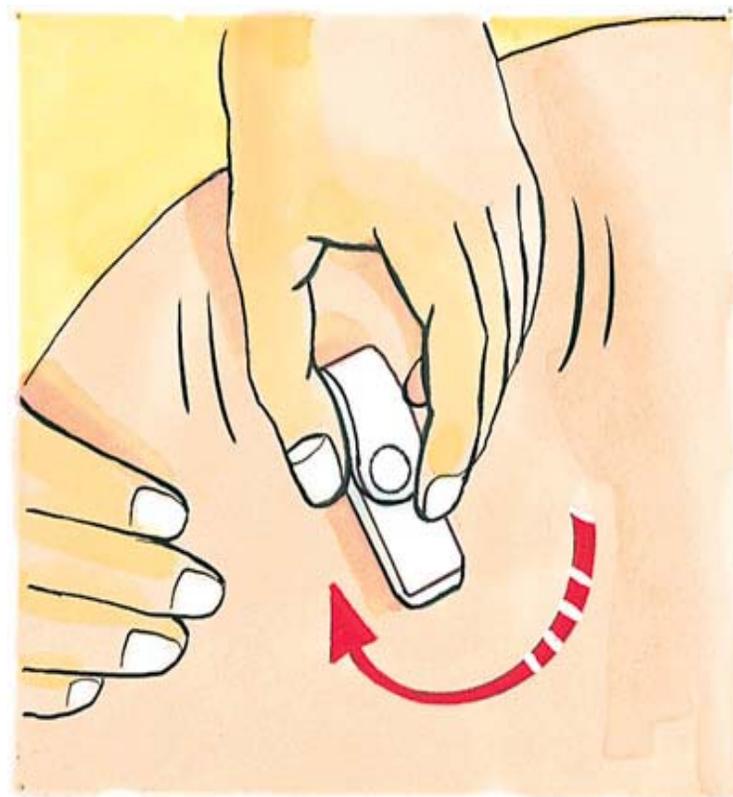
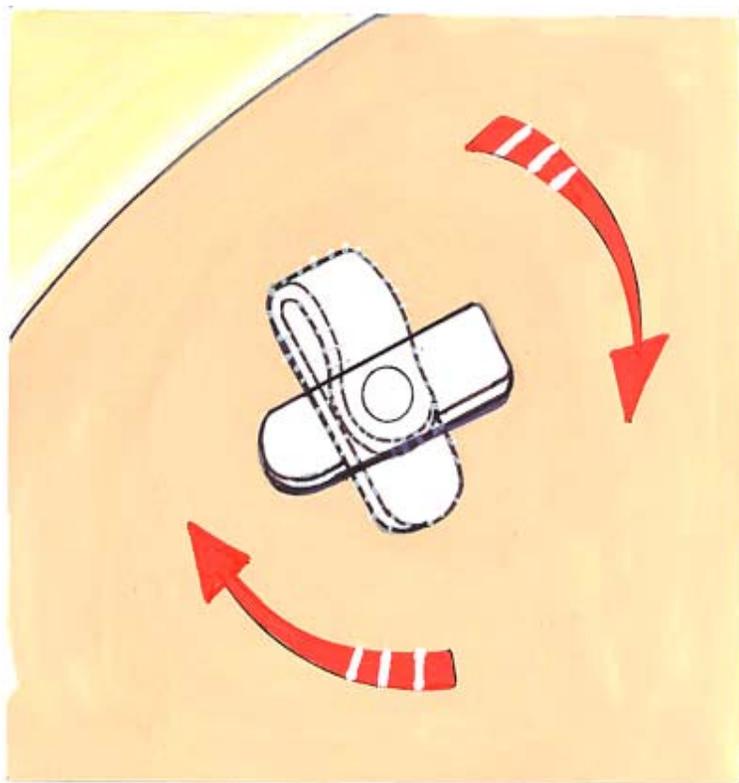
胃瘻周囲の不良肉芽

硝酸銀による焼却



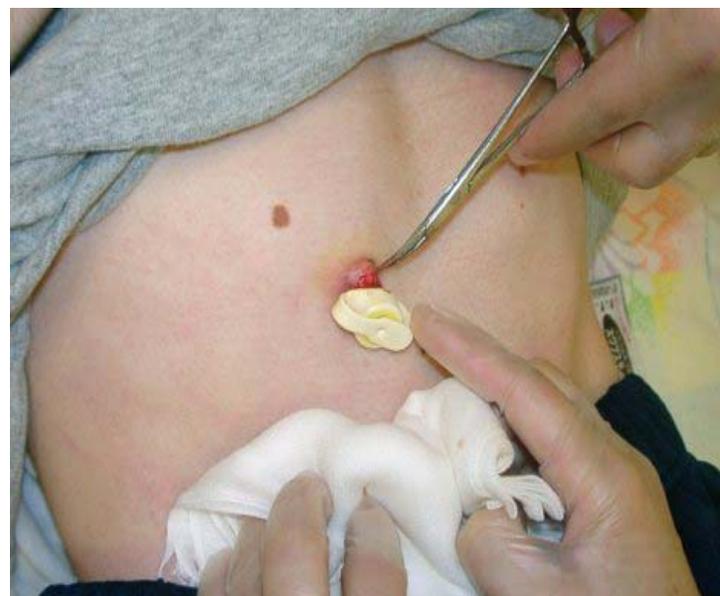
胃慶

同一部位の圧迫を避ける

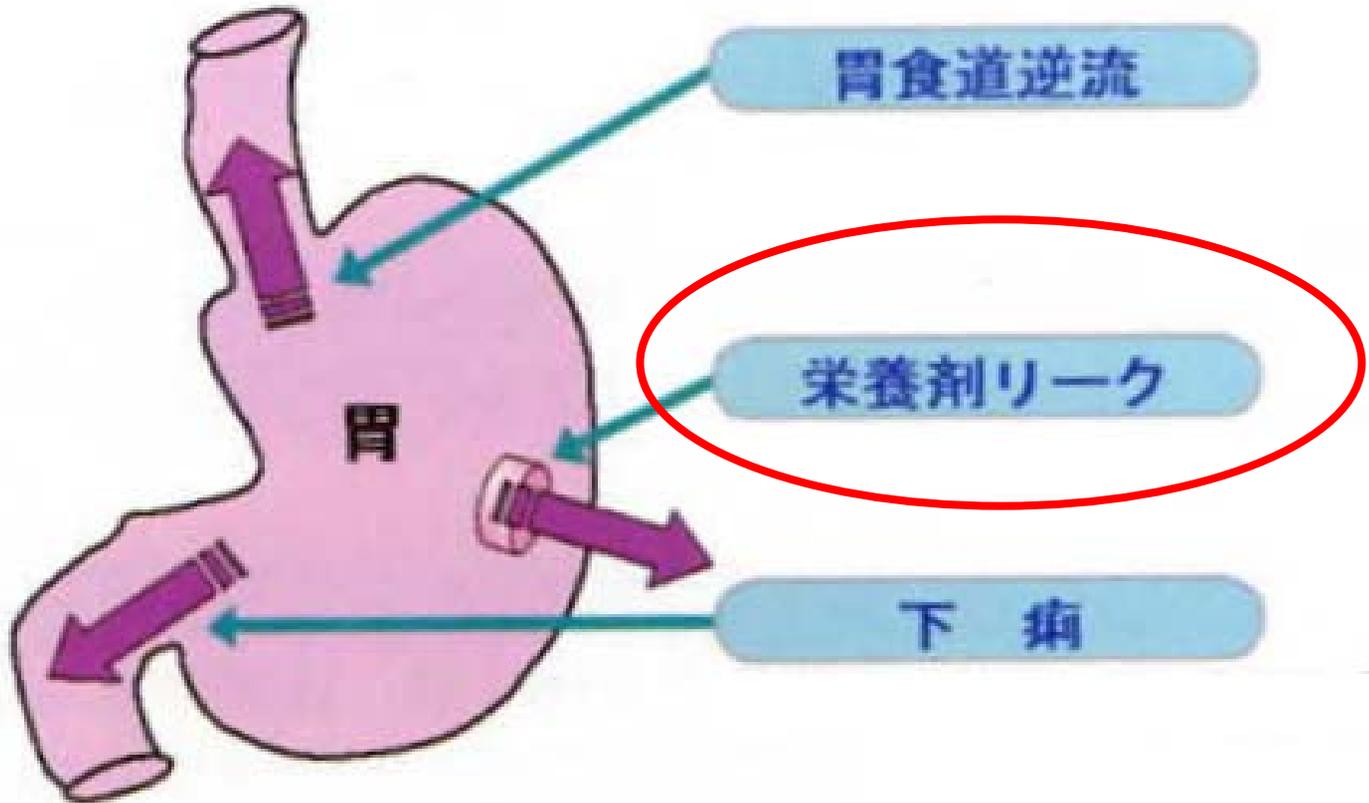


胃瘻

合併症出現時に医師との連携



胃瘻



胃瘻

栄養剤・消化液のもれによる皮膚炎



栄養剤のもれが持続



皮膚が常時湿潤



皮膚炎の発生

漏れへの対策

- 瘻孔径がカテーテル径より大きい
- 腹腔内圧の上昇
- 胃内の栄養剤停滞

胃瘻

胃瘻周囲の健康な皮膚を保護

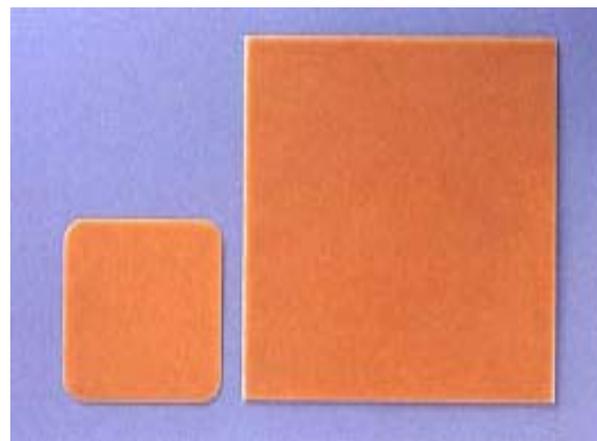


カットして
装着

ペグケア

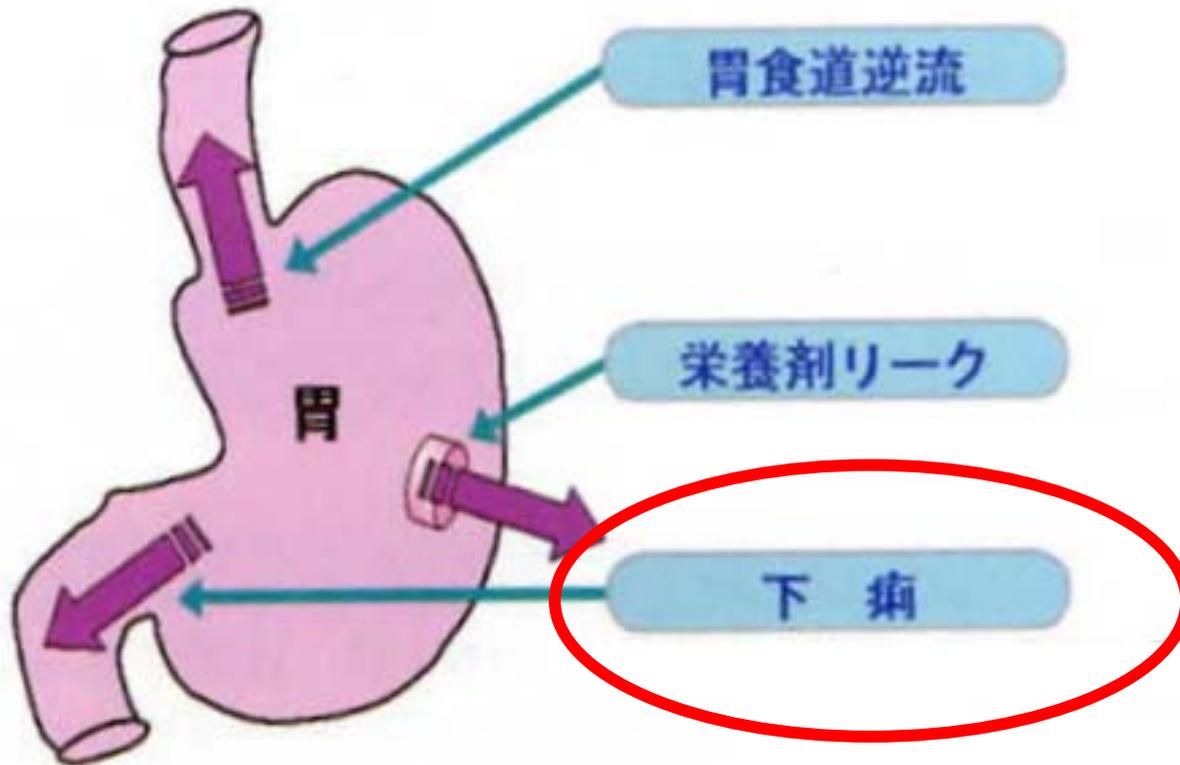
緩衝作用

・浸出液に対して
優れたPH緩衝作用
による皮膚を保護



失禁

失禁ケア



失禁

便失禁による肛門周囲皮膚炎の原因

皮膚障害

化学的刺激

消化酵素

機械的刺激

頻回な洗浄・拭き取り

皮膚のバリア機能障害

ドライスキン
皮脂成分の減少

身体機能の低下

皮膚の浸軟

排泄物の長期付着
オムツ内の高温多湿

失禁

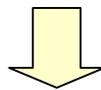
便失禁時のケアのポイント



● 皮膚の清潔と刺激物の除去

頻回に排便がみられる場合：弱酸性洗浄剤・排泄物除去用洗浄剤（リモイスクレンズ・セキューラCL）などにより洗浄を行う。ただし、使用は1日1回程度とする。

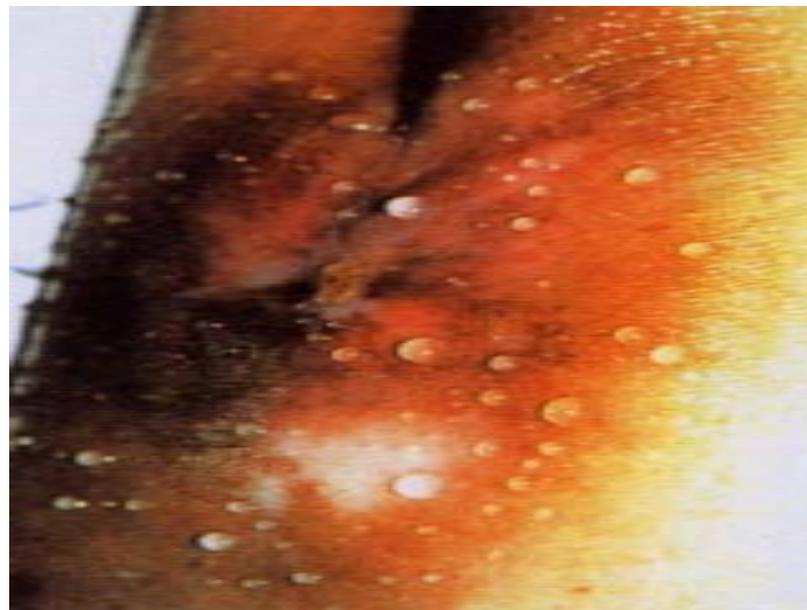
スキンケアとして好ましくないのは、**薬用石鹼**（殺菌剤を混入）や**新生児用ベビー石鹼**（皮脂や汗の分泌が活発な新生児用の洗剤）。



PHが高く脱脂力が強いため皮膚の乾燥を招き
バリア機能が低下

失禁

撥水性効果のある製品



・便が皮膚に付着しないよう、油性洗剤・被膜剤・撥水性クリームなどを使用し、予防または悪化させない。

失禁

失禁による皮膚障害

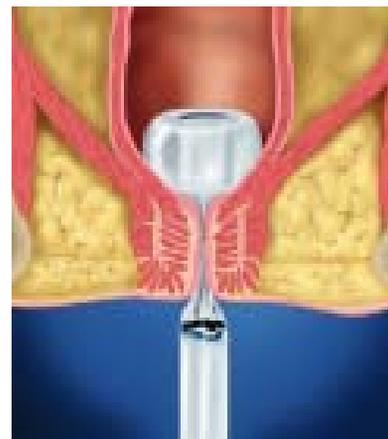


失禁

便・尿失禁対策



アナルプラグ



フレキシシール

失禁

パウチング



腸慶

適切なオムツの使用



第1層 表面シート

軟便や下痢便も目詰まりしにくい網目状のシート。2層目へ素早く引き込んで表面に残さないから、ムレずにさらさら感が持続。

第2層 ろ過シート

かさ高のシートで便をせき止め、水分を効率よく3層目に導いて広がりを抑える。

第3層 吸収体

1層目と2層目で引き込んだ水分をポリマーが素早く吸収。内側に封じ込め逆戻りを防止。

